

【Ⅱテモテへの手紙 3章】

「確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者は
みな、迫害を受けます。」(Ⅱテモテ3:12)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.3.24 No.729

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。

若草の上の小雨のように。

青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。

主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

これはパウロが死を前にして牢獄で、若い気弱なテモテが、次代の指導者となるために心こめて書いた手紙です。神様が私達に語っておられるお言葉だと信仰を持って受けましょう。

終末の時代には、クリスチャンになることが非常に難しくなります。

「自分だけを愛し、またお金だけが全てだと考える風潮がはびこるからです。高慢な者、大風呂敷を広げる者、神をあざける者、両親にそっぽを向き、感謝することを知らない者、手が付けられないならず者が現われます。また頑固で決して他人を理解しようとししない者、うそつきの常習犯で、問題ばかり起こし、頭はみだらな思いでいっぱいと言った連中が増えます。彼らは乱暴で残忍な行動をし、善良であろうとする人をあざ笑います。友を裏切り、怒りっぽく、すぐ思い上がり、神様を礼拝する暇があったら、もっと面白いことをして過ごそうと考えます。教会に出席したにしても、聞いたことを何一つ信じようとしません。目をしっかり開けて、そんな人たちには近寄らないようにしなさい。」リビングバイブルにはこのように書いてあります。

確かにキリスト・イエス様において、敬虔に生きようと願う者は皆、迫害を受けます。この苦難を通してこそ自分に死に、主と共に生きることが出来ます。十字架を背負ってゆく時に、私達は神様に会えます。十字架の受難なくして復活はあり得ません。そのような時に、学んで確信したところにとどまり、また、聖書に立ち返りなさいと教えています。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることが出来るからです。「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」平たく言えば、「全体が神様の靈感によって書かれた聖書は、何が真理であり、何が悪であるかをよく教えてくれます。また、私達の生活をまっすぐにし、正しいことを行う力を与えてくれます。」毎朝、起きてまず神様に礼拝しましょう。そして神のお言葉を頂き、霊の糧としましょう。何か問題があったら、神の言葉に立ち返り、そこから力を頂き、感謝と賛美をもって神の言葉を告白し、主の勝利にあずかって参りましょう。

明日から「感謝と賛美のリバイバルキャンプ」がありますが、マーリンキャロザーズ師の書かれた「感謝と賛美の聖句集」を毎日読むことで私達の信仰は引き上げられてゆくでしょう。キャンプに行けない方も、その場所で感謝と賛美をもって彼らの為に祈り、共にこのリバイバルキャンプを味わってゆくことが出来れば幸いです。

「草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことばは永遠に立つ。」
イザヤ書40：8

*皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。